

富山市 総曲輪レガートスクエア
来月26日完工式典

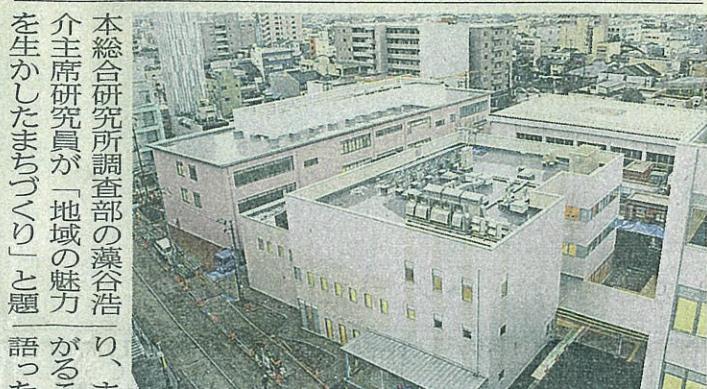
富山市が旧総曲輪小学校跡地で建設を進めてきた「総曲輪レガートスクエア」の合同完工式典は、3月26日に行われる。同日は記念フォーラムも開かれる。森雅志市長が1日の定例会見で発表した。

レガートはイタリア語で

「結ぶ」という意味。約1万平方㍍の敷地に、地域包括ケア拠点施設「市まちなか総合センター」のほか、看護専門学校や理学療法士を養成する

専門学校、フィットネスクラブ、調剤薬局など、官民の施設を一体的に整備している。

オープンは4月1日で、ケアセンターの産後ケア応援室と病児保育室については、利用者の事前登録が既に始まっている。



旧総曲輪小学校跡地で整備が進められている「総曲輪レガートスクエア」。3月26日に完工式典が行われる

して講演する。「『選ばれる地域』とやまとを目指して」をテーマに、パネルディスカッションも繰り広げる。

市長は「子育て世代や高齢者をサポートする体制が整う。専門学校に多くの若者が集まることがことも期待したい」と語った。

式典は午後1時から、旧総曲輪小体育館で行い、終了後には市民向けの内覧会を実施する。記念フォーラムは富山国際会議場に会場を移し、日